

学校コード F113310103876

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

杏林大学

保健学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻
作業療法学専攻
言語聴覚療法学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 杏林学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	井の頭事務部 教務課
職名・氏名	カチョウ シミス ミサ子 課長・清水 みさ子
電話番号	0422-47-8000 (内線: 3134)
(夜間)	0422-47-8064
e-mail	simimisa@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

保健学部 リハビリテーション学科	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	107
7. その他全般的事項	108

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人杏林学園

(2) 大学名

杏林大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒181-8612

東京都三鷹市下連雀5-4-1

(186-8611 東京都三鷹市新川6-20-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツダ タケアキ) 松田 剛明 (令和4年4月)		
学長	(ワタナベ タカシ) 渡邊 卓 (令和4年4月)		
学部長	(オカジマ ヤストモ) 岡島 康友 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 学士(理学療法) 作業療法専攻 学士(作業療法) 言語聴覚療法専攻 学士(言語聴覚療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	140人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	560人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	1.05倍	-倍	1.05倍	-倍
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,032	(-)				
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,011	(-)				
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	407	(-)				
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	148	(-)				
	入学定員超過率 B/A													1.05					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	148 [0] (-)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	148 [0] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	148 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{148} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	心理学	1前	2								1	
	生命倫理学	1後	2								1	
	芸術	1前・後	2								1	
	社会福祉学	1後	2								3	
	発達心理学	1後	2								1	
	職業適性論	1後	2				1				9	
	日本国憲法	1後	2								1	
	日本語学	1前・後	2								1	
	ことばと社会	1前・後	2								1	
	保健・医療の現状と未来 I	1前	2								15	
	保健・医療の現状と未来 II	1前	2								15	
	社会と大学 I	1前	2								14	
	社会と大学 II	1前	2								13	
	社会と大学 III	1前	2								12	
	自然科学系	数学	1前	2								1
		統計学	1後	2								1
		情報処理論	1前	2				1				
		基礎物理学	1前	1								1
		基礎化学	1前	1								1
		生化学概論	1後	2								3
		基礎生物学	1前	1								1
		生命科学概論	1前	2								1
	語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								1
		英語読解	1後	2								1
		保健医療英語	2前	2								1
		英会話	1前・後	2								2
		医学英語	2後	2								1
		日本語表現法	1後	2								1
小計(28科目)	—	8	45	0	0	0	1	0	0	98		
専門基礎分野	解剖学	1前	2								3	
	リハビリテーション解剖学	1後	1		1							
	解剖学実習	1後	1								3	
	リハビリテーション解剖学実習	2前	1				1					
	生理学 I	1前	2								2	
	生理学 II	1後	1								2	
	生理学実習	2前	1								4	
	リハビリテーション基礎医学	1後	2			1						
	リハビリテーション基礎医学演習	2前	1			1						
	病理学概論	2前	1								2	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	心理学	1前	2								1	
	生命倫理学	1後	2								4	
	芸術	1前・後	2								1	
	社会福祉学	1後	2								4	
	発達心理学	1後	2								1	
	職業適性論	1後	2					1			9	
	日本国憲法	1後	2								1	
	日本語学(未開講)	1前・後	2									
	ことばと社会	1前・後	2								1	
	保健・医療の現状と未来 I	1後	2								1	
	保健・医療の現状と未来 II	1後	2								1	
	社会と大学 I	1前	2								15	
	社会と大学 II	1後	2								1	
	社会と大学 III	1前	2								12	
	自然科学系	数学	1前	2								1
		統計学	1後	2								1
		情報処理論	1前	2					1			
		基礎物理学	1前	1								1
		基礎化学	1前	1								1
		生化学概論	1後	2								2
		基礎生物学	1前	1								1
		生命科学概論	1前	2								1
	語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								1
		英語読解	1後	2								1
		保健医療英語	2前	2								1
		英会話	1前・後	2								2
		医学英語	2後	2								1
		日本語表現法	1前・後	2								2
小計(28科目)	—	8	45	0	0	0	1	0	0	36		
専門基礎分野	解剖学	1前	2								3	
	リハビリテーション解剖学	1後	1			1						
	解剖学実習	1後	1								3	
	リハビリテーション解剖学実習	2前	1					1				
	生理学 I	1前	2								2	
	生理学 II	1後	1								2	
	生理学実習	2前	1								4	
	リハビリテーション基礎医学	1後	2				1					
	リハビリテーション基礎医学演習	2前	1				1					
	病理学概論	2前	1								2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門基礎分野	人間発達学	2後	2			1	1							
	臨床心理学	2前	1											1
	精神医学	2前	2											1
	内科学 I	2前	2			1								2
	内科学 II	2後		2										1
	小児科学	2後	1											1
	神経内科学	2後	2											1
	外科学	2後		1										1
	整形外科学	2前	2											4
	脳神経外科学	2後	1											1
	感染症・免疫学	2後		2										1
	薬理学	2前		1										1
	栄養学	2前		1										1
	リハビリテーション概論	1後	1				1							
リハビリテーション医学	2後	1											2	
保健学・衛生学系	公衆衛生学 I	2前	2											1
	公衆衛生学 II	2後		2										5
	産業保健学	2前		2										2
	環境衛生工学	2前		2										1
	救命救助法	1前・後		1										1
	労働衛生法規 I	2前		2										2
	労働衛生法規 II	2前		2										1
小計(32科目)	—	30	18	0	2	2	1	0	0				34	
基礎理学療法学系	理学療法概論	1前	1			1	2	1						
	理学療法用語論	2前		1				2						
	運動学	1前・後	2					1						
	運動学演習	1後	1						1					
	運動学実習	2前	1			1	2	1						
	病態運動学演習	3前		1		1	1							
	運動解剖学演習	2後	1			1		1	1					
	理学療法評価学概論	1後	1			1	1							
	理学療法評価学演習 I	2前	1				1							
	理学療法評価学演習 II	2後	1			2	4	2						
理学療法評価学系	理学療法評価学実習	2後	1				4		1					
	動作分析学演習	2後	1					1	1					
	高次脳機能障害学	3後	1			1	1							
	理学療法治療学総論	3前		1			1	2						
	運動療法学	2後	1			1	1							
	運動療法学実習	3前	1			1	3	1						
	物理療法学	1後	1				1							
理学療法治療学系	物理療法学実習	2前	1				4							
	義肢装具学	3前	1			1								
	義肢装具学実習	3後	1			1	1		1					
	日常生活技術学	2後	1				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門基礎分野	人間発達学	2後	2			1	1							
	臨床心理学	2前	1											1
	精神医学	2前	2											1
	内科学 I	2前	2			1								2
	内科学 II	2後		2										1
	小児科学	2後	1											1
	神経内科学	2後	2											1
	外科学	2後		1										1
	整形外科学	2前	2											4
	脳神経外科学	2後	1											1
	感染症・免疫学	2後		2										1
	薬理学	2前		1										1
	栄養学	2前		1										1
	リハビリテーション概論	1後	1							1				
リハビリテーション医学	2後	1											2	
保健学・衛生学系	公衆衛生学 I	2前	2											1
	公衆衛生学 II	2後		2										5
	産業保健学	2前		2										2
	環境衛生工学	2前		2										1
	救命救助法	1前		1										1
	労働衛生法規 I	2前		2										2
	労働衛生法規 II	2前		2										1
小計(32科目)	—	30	18	0	2	2	1	0	0				34	
基礎理学療法学系	理学療法概論	1前	1			1	2	1						
	理学療法用語論	2前		1				2						
	運動学	1前・後	2					1						
	運動学演習	1後	1						1					
	運動学実習	2前	1			1	2	1						
	病態運動学演習	3前		1		1	1							
	運動解剖学演習	2後	1			1		1	1					
理学療法評価学系	理学療法評価学概論	1後	1			1	1							
	理学療法評価学演習 I	2前	1				1							
	理学療法評価学演習 II	2後	1			2	4	2						
	理学療法評価学実習	2後	1				4		1					
	動作分析学演習	2後	1					1	1					
	高次脳機能障害学	3後	1			1	1							
	理学療法治療学総論	3前		1			1	2						
理学療法治療学系	運動療法学	2後	1			1	1							
	運動療法学実習	3前	1			1	3	1						
	物理療法学	1後	1				1							
	物理療法学実習	2前	1				4							
	義肢装具学	3前	1			1								
	義肢装具学実習	3後	1			1	1		1					
	日常生活技術学	2後	1				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理学療法治療学系	日常生活技術学実習	3前	1			4							
	運動器障害系理学療法学	3前	2			1							
	運動器障害系理学療法学演習	3後	1			1	1	1					
	神経障害系理学療法学	3前	2			1	1						
	神経障害系理学療法学演習	3後	1			1	1						
	内部障害系理学療法学	3前	2			1	1						
	内部障害系理学療法学演習	3後	1			1	1						
	小児理学療法学	3前	2			1	1						
	小児理学療法学演習	3後	1				1						
	高齢者理学療法学演習	3後	1			1	1						
	急性期理学療法学	3後		1			1						
	スポーツ障害理学療法学	3前		1			1						
	徒手理学療法学演習	4後		1				1					
専門分野	臨床理学療法学実習	3通	2			4	7	3	2				
	臨床理学療法学推論学演習	4後		1		1							
	理学療法管理学	4後	2				1						
	地域理学療法学	3後	2				1						
	生活環境学	3前	1				1						
	理学療法国際事情	4後		1		1	1						
	臨床実習系	見学実習	1前	1			4	7	3	2			
		評価実習Ⅰ	2後	2			4	7	3	2			
		評価実習Ⅱ	3後	4			4	7	3	2			
		地域理学療法実習	3後	1			4	7	3	2			
		総合臨床実習	4前	14			4	7	3	2			
	総合領域	障害者スポーツ演習	1前		1		1	1	1	1			
		理学療法統計学演習	3前		1		1						
理学療法研究法		4後		1		1							
理学療法解析手法演習		4後		1			1						
応用理学療法学演習		4後	1			1	6	1	1				
基礎理学療法学演習Ⅰ		3通	2			4	7	3	2				
基礎理学療法学演習Ⅱ		4後	2			1							
卒業研究		4通	2			4	7	3	2				
小計(53科目)	—	69	12	0	4	7	3	2	0	0			
合計(113科目)	—	107	75	0	4	7	3	2	0	128			
卒業要件及び履修方法													
必修107単位、基礎分野の選択科目から6単位以上、医学系の選択科目から3単位以上、保健・衛生学系の選択科目から2単位以上、専門分野の選択科目から7単位以上を修得し、125単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理学療法治療学系	日常生活技術学実習	3前	1			4							
	運動器障害系理学療法学	3前	2			1							
	運動器障害系理学療法学演習	3後	1			1	1	1					
	神経障害系理学療法学	3前	2			1	1						
	神経障害系理学療法学演習	3後	1			1	1						
	内部障害系理学療法学	3前	2				2						
	内部障害系理学療法学演習	3後	1				2						
	小児理学療法学	3前	2			1	1						
	小児理学療法学演習	3後	1				1						
	高齢者理学療法学演習	3後	1				1	1					
	急性期理学療法学	3後		1			1						
	スポーツ障害理学療法学	3前		1			1						
	徒手理学療法学演習	4後		1					1				
専門分野	臨床理学療法学実習	3通	2			5	6	3	2				
	臨床理学療法学推論学演習	4後		1		1							
	理学療法管理学	4後	2				1						
	地域理学療法学	3後	2				1						
	生活環境学	3前	1				1						
	理学療法国際事情	4後		1		1	1						
	臨床実習系	見学実習	1前	1			5	6	3	3			
		評価実習Ⅰ	2後	2			5	6	3	2			
		評価実習Ⅱ	3後	4			5	6	3	2			
		地域理学療法実習	3後	1			5	6	3	2			
		総合臨床実習	4前	14			5	6	3	2			
	総合領域	障害者スポーツ演習	1前		1		1	1	1	1			
		理学療法統計学演習	3前		1		1						
理学療法研究法		4後		1		1							
理学療法解析手法演習		4後		1			1						
応用理学療法学演習		4後	1				2	5	1	1			
基礎理学療法学演習Ⅰ		3通	2				5	6	3	2			
基礎理学療法学演習Ⅱ		4後	2				1						
卒業研究		4通	2				5	6	3	2			
小計(53科目)	—	69	12	0	5	6	3	3	0	0			
合計(113科目)	—	107	75	0	5	6	3	3	0	128			
卒業要件及び履修方法													
必修107単位、基礎分野の選択科目から6単位以上、医学系の選択科目から3単位以上、保健・衛生学系の選択科目から2単位以上、専門分野の選択科目から7単位以上を修得し、125単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページ目に表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・より幅広い分野を学ぶため、「生命倫理学」の担当教員を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・福田実乃里助教が社会福祉士実習演習担当教員講習会に参加し、社会福祉士基礎分野講習を修了したため、「社会福祉学」の担当教員として追加。それに伴い「兼3」から「兼4」に変更。
- ・授業形態の変更に伴い(オンデマンド授業とする)、「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の開講学期を「1前」から「1後」に変更。
また、それに伴い、担当教員を「兼15」から「兼1」に変更。
- ・教員の退職および総合政策学部内での担当科目の調整により、「社会と大学Ⅰ」の担当教員を「兼14」から「兼15」に変更。
- ・教員の退職および総合政策学部内での担当科目の調整により、「社会と大学Ⅱ」の開講学期を「1前」から「1後」に変更。
また、担当教員を「兼13」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の開講曜日調整困難のため、「生化学概論」の担当教員を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・少人数教育を実施するため、「日本語表現法」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・上記変更に伴い、「基礎分野」の兼任・兼任教員数を「98」から「36」に変更。
- ・上級救命技能講習を含む科目であり、東京消防庁との開講日程調整のため、「救命救助法」の配当時期を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・木村雅彦准教授が教授に昇任したため、下記の科目の専任教員配置人数を変更。(教授数1増、准教授数1減)
「理学療法用語論」「運動学実習」「理学療法評価学演習Ⅱ」「理学療法治療学総論」「運動療法学実習」「内部障害系理学療法学」「内部障害系理学療法学演習」「急性期理学療法学」「臨床理学療法学実習」「理学療法管理学」「見学実習」「評価実習Ⅰ」「評価実習Ⅱ」「地域理学療法実習」「総合臨床実習」「応用理学療法学演習」「基礎理学療法学演習Ⅰ」「卒業研究」
- ・後期は演習を主とした科目を行うため、講義科目である「運動学」の配当時期を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・松嶋真哉助教の採用により、「見学実習」の専任教員等の配置人数を一部変更。(助教数1増)

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

<保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間科学系	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1後		2							1
	芸術	1前・後		2							1
	社会福祉学	1後		2							3
	発達心理学	1後		2							1
	職業適性論	1後		2			1				9
	日本国憲法	1前		2							1
	日本語学	1後		2							1
	ことばと社会	1前・後		2							1
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2							15
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2							15
	社会と大学Ⅰ	1前		2							15
	社会と大学Ⅱ	1前		2							13
社会と大学Ⅲ	1前		2							12	
基礎分野	数学	1前		2							1
	統計学	1後		2							1
	情報処理論	1前	2			1			1		
	基礎物理学	1前		1							1
	物理学概論	1後		2							1
	基礎化学	1前		1							1
	生化学概論	1後		2							3
	基礎生物学	1前		1							1
	生命科学概論	1前		2							1
	分子生物学	1後		2							1
人類遺伝学	1前		2							1	
語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								1
	英語読解	1後	2								1
	保健医療英語	2前		2							1
	英会話	2前・後		2							2
	医学英語	2後		2							1
	日本語表現法	1前		2							1
小計(31科目)	—	8	51	0	1	1	0	1	0	98	
基礎分野	解剖学	1前	2								3
	リハビリテーション解剖学	1前	1					1			
	解剖学実習	1後	1								3
	リハビリテーション解剖学実習	1後	1			1			2		
	生理学Ⅰ	1前	2								2
	生理学Ⅱ	1後	1								2
	生理学実習	2前	1								4

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間科学系	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1後		2							4
	芸術	1前・後		2							1
	社会福祉学	1後		2							4
	発達心理学	1後		2							1
	職業適性論	1後		2			1				9
	日本国憲法	1後		2							1
	日本語学(未開講)	1後		2							
	ことばと社会	1前・後		2							1
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1後		2			1				
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1後		2			1				
	社会と大学Ⅰ	1前		2							15
	社会と大学Ⅱ	1後		2							1
社会と大学Ⅲ	1前		2							12	
基礎分野	数学	1前		2							1
	統計学	1後		2							1
	情報処理論	1前	2			1			1		
	基礎物理学	1前		1							1
	物理学概論	1後		2							1
	基礎化学	1前		1							1
	生化学概論	1後		2							2
	基礎生物学	1前		1							1
	生命科学概論	1前		2							1
	分子生物学	1後		2							1
人類遺伝学	1前		2							1	
語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								1
	英語読解	1後	2								1
	保健医療英語	2前		2							1
	英会話	1前・後		2							2
	医学英語	2後		2							1
	日本語表現法	1前・後		2							1
小計(31科目)	—	8	51	0	2	1	0	1	0	63	
基礎分野	解剖学	1前	2								3
	リハビリテーション解剖学	1前	1						1		
	解剖学実習	1後	1								3
	リハビリテーション解剖学実習	1後	1			1			2		
	生理学Ⅰ	1前	2								2
	生理学Ⅱ	1後	1								2
	生理学実習	2前	1								4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	運動学	2前	2			1							
	運動学実習	2後	1			1			1				
	病態運動学実習	3前		1		1			1				
	病理学	2前	1								2		
	人間発達学	1後	1					1					
	リハビリテーション概論	1後	1			1							
	臨床心理学概論	2前	1									1	
	精神医学	2前	2									1	
	内科学Ⅰ	2前	2									3	
	内科学Ⅱ	2後		2								1	
	小児科学	2後		1								1	
	神経内科学	2後	2									1	
	外科学	2後	1									1	
	整形外科	2前	2									5	
	脳神経外科学	2後	1									1	
	リハビリテーション医学	2後	1									2	
	感染症・免疫学	2後		2								1	
	薬理学	1前	1									1	
	栄養学	1前	1									1	
	保健学・衛生学系	産業保健学	2前		2								2
公衆衛生学Ⅰ		2前	2									1	
公衆衛生学Ⅱ		2後		2								5	
環境衛生工学		2前		2								1	
救命救助法		1前	1									1	
労働衛生法規Ⅰ		2前		2								2	
労働衛生法規Ⅱ		2前		2								1	
小計(33科目)	—	32	16	0	2	0	1	2	0		36		
基礎作業療法学系	作業療法学概論	1前	1			2	1		1				
	基礎作業学概論	1後	1			1							
	基礎作業学実習	1後	1			1	1	1					
	作業分析学	1後	1			1							
	作業分析学演習	1後	1			1	1						
	作業療法諸理論	1後		1		1							
	作業療法評価学系	作業療法評価学Ⅰ(総論)	1後	1			1			1			
		作業療法評価学Ⅱ(疾患別)	2前	1			1		1	1			
		作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障害)	2後	1			1			2			
		作業療法評価学実習Ⅱ(発達・精神障害)	2後	1				1	1	1			
作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害)		2後	1			1			2				
認知機能評価法		2前		1			1		1				
身体障害作業療法学系	身体障害作業療法学Ⅰ	3前	1			2	1		1				
	身体障害作業療法学Ⅱ	3前	1						2				
	身体障害作業療法学演習	3前	1				1		3				
	高次脳機能障害作業療法学	2後	1				1						
	精神障害作業療法学Ⅰ	3前	1			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎分野	運動学	2前	2			1							
	運動学実習	2後	1			1				1			
	病態運動学実習	3前		1		1				1			
	病理学	2前	1									2	
	人間発達学	1後	1						1				
	リハビリテーション概論	1後	1			1							
	臨床心理学概論	2前	1									1	
	精神医学	2前	2									1	
	内科学Ⅰ	2前	2									3	
	内科学Ⅱ	2後		2								1	
	小児科学	2後		1								1	
	神経内科学	2後	2									1	
	外科学	2後	1									1	
	整形外科	2前	2									5	
	脳神経外科学	2後	1									1	
	リハビリテーション医学	2後	1									2	
	感染症・免疫学	2後		2								1	
	薬理学	1前	1									1	
	栄養学	1前	1									1	
	保健学・衛生学系	産業保健学	2前		2								2
公衆衛生学Ⅰ		2前	2									1	
公衆衛生学Ⅱ		2後		2								5	
環境衛生工学		2前		2								1	
救命救助法		1前	1									1	
労働衛生法規Ⅰ		2前		2								2	
労働衛生法規Ⅱ		2前		2								1	
小計(33科目)	—	32	16	0	2	0	1	2	0		34		
基礎作業療法学系	作業療法学概論	1前	1			2	1		1				
	基礎作業学概論	1後	1			1					1		
	基礎作業学実習	1後	1			1	1	1		2	1		
	作業分析学	1後	1			1			1				
	作業分析学演習	1後	1			1	1				1		
	作業療法諸理論	1後		1		1							
	作業療法評価学系	作業療法評価学Ⅰ(総論)	1後	1			1			1			
		作業療法評価学Ⅱ(疾患別)	2前	1			1				1		
		作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障害)	2後	1			1				2		
		作業療法評価学実習Ⅱ(発達・精神障害)	2後	1				1	1	1	2		
作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害)		2後	1			1				2			
認知機能評価法		2前		1			1		1		1		
身体障害作業療法学系	身体障害作業療法学Ⅰ	3前	1			2	1		1				
	身体障害作業療法学Ⅱ	3前	1								2		
	身体障害作業療法学演習	3前	1				1			3			
	高次脳機能障害作業療法学	2後	1				1						
	精神障害作業療法学Ⅰ	3前	1			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門分野	精神障害作業療法学Ⅱ	3前	1			1								
	精神障害作業療法学演習	3後	1				1							
	発達障害作業療法学Ⅰ	3前	1					1						
	発達障害作業療法学Ⅱ	3前	1					1						
	発達障害作業療法学演習	3後	1					1						
	老年期障害作業療法学	3前	1			1								
	認知障害作業療法学	3後	1						1					
	職業関連作業療法学	3後	1			1		1	1					
	高次機能代償学	3前		1			1							
	義肢装具学	3後	1			1			1					
	義肢装具学実習	3後	1			1			1					
	福祉用具適応学	2後	1						1					
	日常生活活動学Ⅰ(総論)	2前	1						2					
	日常生活活動学Ⅱ(疾患別)	2前	1						2					
作業療法治療学系	バリアフリー概論	3前		1				1						
	レクリエーション概論	3前		1		1								
	クリニカルリーズニング	3前		1			1		2					
	ハンドセラピー概論	3前	1						1					
	作業療法管理学	4後	2			1								
	地域療法学系	地域生活作業療法学	3前	1			1							
		地域ケアシステム学	3前	1			1							
		住環境整備学	3後	1					1					
		地域生活作業療法学演習	3後	1			1							
	作業療法国際事情	3後		1		1								
	臨床実習系	見学実習	1前	1			5	2	1	8				
		評価実習Ⅰ	2後	1			5	2	1	8				
		評価実習Ⅱ	3後	4			5	2	1	8				
		総合臨床実習	4前	16			5	2	1	8				
地域・訪問実習		4後	1			5	2	1	8					
総合領域	作業療法学演習Ⅰ	2後	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅱ	3前	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅲ	3後	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅳ	4後	2			5	2	1	8					
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	2	1	8					
	卒業研究Ⅱ	4通	3			5	2	1	8					
小計(52科目)	—	67	7	0	5	2	1	8	0					
合計(116科目)	—	107	74	0	5	2	1	8	0	129				
卒業要件及び履修方法														
必修107単位、人間科学系の選択科目から4単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、語学系の選択科目から4単位以上、医学系の選択科目から1単位以上、保健・衛生学系の選択科目から2単位以上、専門分野の選択科目から1単位以上を修得し、125単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))														

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門分野	精神障害作業療法学Ⅱ	3前	1			1								
	精神障害作業療法学演習	3前	1				1							
	発達障害作業療法学Ⅰ	3前	1					1						
	発達障害作業療法学Ⅱ	3前	1					1						
	発達障害作業療法学演習	3後	1					1						
	老年期障害作業療法学	3前	1			1								
	認知障害作業療法学	3後	1						1					
	職業関連作業療法学	3後	1			1		1	1					
	高次機能代償学	3前		1			1							
	義肢装具学	3後	1			1			1					
	義肢装具学実習	3後	1			1			1					
	福祉用具適応学	2後	1						1					
	日常生活活動学Ⅰ(総論)	2前	1						1	1				
	日常生活活動学Ⅱ(疾患別)	2前	1						1	1				
作業療法治療学系	バリアフリー概論	3前		1				1						
	レクリエーション概論	3前		1		1								
	クリニカルリーズニング	3前		1			1		2					
	ハンドセラピー概論	3前	1						1					
	作業療法管理学	4後	2			1								
	地域療法学系	地域生活作業療法学	3前	1			1							
		地域ケアシステム学	3前	1			1							
		住環境整備学	3後	1					1					
		地域生活作業療法学演習	3後	1			1							
	作業療法国際事情	3後		1		1								
	臨床実習系	見学実習	1前	1			5	2	1	8				
		評価実習Ⅰ	2後	1			5	2	1	8				
		評価実習Ⅱ	3後	4			5	2	1	8				
		総合臨床実習	4前	16			5	2	1	8				
地域・訪問実習		4後	1			5	2	1	8					
総合領域	作業療法学演習Ⅰ	2後	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅱ	3前	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅲ	3後	1			5	2	1	8					
	作業療法学演習Ⅳ	4後	2			5	2	1	8					
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	2	1	8					
	卒業研究Ⅱ	4通	3			5	2	1	8					
小計(52科目)	—	67	7	0	5	2	1	8	0					
合計(116科目)	—	107	74	0	5	2	1	8	0	97				
卒業要件及び履修方法														
必修107単位、人間科学系の選択科目から4単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、語学系の選択科目から4単位以上、医学系の選択科目から1単位以上、保健・衛生学系の選択科目から2単位以上、専門分野の選択科目から1単位以上を修得し、125単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))														

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
			修	択	由	授	授	師	教	手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
			修	択	由	授	授	師	教	手	

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ より幅広い分野を学ぶため、「生命倫理学」の担当教員を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・ 福田実乃里助教が社会福祉士実習演習担当教員講習会に参加し、社会福祉士基礎分野講習を修了したため、「社会福祉学」の担当教員として追加。それに伴い「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 担当教員の変更に伴い、「日本国憲法」の開講学期を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 授業形態の変更に伴い(オンデマンド授業とする)、「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の開講学期を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 教員の退職および総合政策学部内での担当科目の調整により、「社会と大学Ⅱ」の開講学期を「1前」から「1後」に変更。また、担当教員を「兼13」から「兼1」に変更。
- ・ 担当教員の開講曜日調整困難のため、「生化学概論」の担当教員を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・ 授業内容の見直しに伴い、「英会話」の配当年次を「2前・後」から「1前・後」に変更。
- ・ 少人数教育を実施するため、「日本語表現法」の開講学期を「1・前」から「1前・後」に変更。
- ・ 鈴木優喜子助教、長島泉助教、原田祐輔助教が講師に昇任、前田直助教が退職したため、下記の科目の専任教員配置人数を変更。(講師数3増、助教数4減)
「作業療法学概論」「基礎作業学概論」「基礎作業学実習」「作業分析学演習」「作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障害)」「作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神障害)」「作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害)」「身体障害作業療法学Ⅰ」「身体障害作業療法学Ⅱ」「身体障害作業療法学演習」「福祉用具適応学」「日常生活活動学Ⅰ(総論)」「日常生活活動学Ⅱ(疾患別)」「クリニカルリーディング」「住環境整備学」「見学実習」「評価実習Ⅰ」「評価実習Ⅱ」「総合臨床実習」「地域・訪問実習」「作業療法学演習Ⅰ」「作業療法学演習Ⅱ」「作業療法学演習Ⅲ」「作業療法学演習Ⅳ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
- ・ より幅広い分野を学ぶため、「作業分析学」の担当教員を専任教授に加え、専任准教授を一配置。
- ・ 担当教員の見直しに伴い、「作業療法評価学Ⅰ(総論)」の担当教員を専任助教から専任准教授に変更。
- ・ 授業日程調整に伴い、「精神障害作業療法学演習」の開講学期を「3後」から「3前」に変更。
- ・ 専任助教の退職に伴い、「ハンドセラピー概論」の担当教員を専任教授に変更。
- ・ 開講曜日時限の調整困難のため、「見学実習」の専任教授を「5」から「4」に変更。

- (注)
- ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

<保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会科学系	生命倫理学	1後	2								兼1
	芸術	1前・後	2								兼1
	職業適性論	1後	2								兼10
	ことばと社会	1前・後	2								兼1
	日本国憲法	1前	2								兼1
	教育学	1後	2								兼1
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前	2		1						兼14
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前	2		1						兼14
	社会と大学Ⅰ	1前	2								兼14
	社会と大学Ⅱ	1前	2								兼13
社会と大学Ⅲ	1前	2								兼12	
自然科学系	数学	1前	2		1						
	統計学	1後	2								兼1
	情報処理論	1前	2								兼1
	基礎物理学	1前	1								兼1
	物理学概論	1後	2								兼1
	基礎化学	1前	1								兼1
	生化学概論	1後	2								兼3
	基礎生物学	1前	1								兼1
	生命科学概論	1前	2								兼1
	人類遺伝学	1前	2								兼1
語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								兼1
	英語読解	1後	2								兼1
	保健医療英語	2前	2								兼1
	英会話	2前・後	2								兼2
	医学英語	2後	2								兼1
小計(26科目)	—	10	39	0	2	0	0	0	0	0	兼93
専門基礎分野	言語の表現法	1前	2								兼1
	言語学	1後	2								兼1
	音声学	1前	2								兼1
	音響学・聴覚心理学	2前	2								兼1
	言語発達学	1後	2				1				
	心理言語学	1後	2				1				
基礎	医学総論	1前	1								兼1
	解剖学	1前	2								兼3
	解剖学実習	1後	1								兼3
	生理学Ⅰ	1前	2								兼2
	生理学Ⅱ	1後	1								兼2
	生理学実習	2前	1								兼4

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会科学系	生命倫理学	1後	2								兼4
	芸術	1前・後	2								兼1
	職業適性論	1後	2								兼10
	ことばと社会	1前・後	2								兼1
	日本国憲法	1後	2								兼1
	教育学	1後	2								兼1
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1後	2								兼1
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1後	2								兼1
	社会と大学Ⅰ	1前	2								兼15
	社会と大学Ⅱ	1後	2								兼1
社会と大学Ⅲ	1前	2								兼12	
自然科学系	数学	1前	2		1						
	統計学	1後	2								兼1
	情報処理論	1前	2								兼2
	基礎物理学	1前	1								兼1
	物理学概論	1後	2								兼1
	基礎化学	1前	1								兼1
	生化学概論	1後	2								兼2
	基礎生物学	1前	1								兼1
	生命科学概論	1前	2								兼1
	人類遺伝学	1前	2								兼1
語学系	英語プレゼンテーション	1前	2								兼1
	英語読解	1後	2								兼1
	保健医療英語	2前	2								兼1
	英会話	2前・後	2								兼2
	医学英語	2後	2								兼1
小計(26科目)	—	10	39	0	1	0	0	0	0	0	兼60
専門基礎分野	言語の表現法	1前	2								兼1
	言語学	1後	2								兼1
	音声学	1前	2								兼1
	音響学・聴覚心理学	2前	2								兼1
	言語発達学	1後	2					1			
	心理言語学	1後	2					1			
基礎	医学総論	1前	1								兼1
	解剖学	1前	2								兼3
	解剖学実習	1後	1								兼3
	生理学Ⅰ	1前	2								兼2
	生理学Ⅱ	1後	1								兼2
	生理学実習	2前	1								兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	医学系	病理学	2前	2							兼2	
	人間発達学	1後	1								兼1	
	運動学	2前	2								兼1	
	運動学実習	2後	1								兼1	
	病態運動学実習	3前	1								兼1	
	衛生学Ⅰ	2前	2								兼1	
	衛生学Ⅱ	2後	2								兼5	
	臨床医学系	精神医学	2前	2								兼1
	臨床神経学	3前	1									兼1
	内科学Ⅰ	2前	2								兼3	
	内科学Ⅱ	2後	2								兼1	
	小児科学	2後	1			1						
	神経内科学	2後	2								兼1	
	外科学	2後	1								兼1	
	耳鼻咽喉科学	3前	2								兼1	
	形成外科学	3前	1								兼1	
	臨床歯科医学	3前	1								兼1	
	口腔外科学	3前	1								兼1	
	脳神経外科学	2後	1								兼1	
	リハビリテーション医学	2後	1			1					兼1	
	感染症・免疫学	2後	2								兼1	
薬理学	1前	1								兼1		
栄養学	1前	1								兼1		
救命救助法	1前	1								兼1		
音声・言語・聴覚医学系	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	1後	1					1				
聴覚系の構造・機能・病態	1前	1						1				
神経系の構造・機能・病態	1前・後	2						1				
心理学系	臨床心理学概論	2前	2								兼1	
学習・言語心理学	1後	2									兼1	
生涯発達心理学	1前	2									兼1	
心理的アセスメント	3前	2									兼1	
社会福祉学系	社会福祉学	1後	2								兼3	
リハビリテーション概論	1後	1									兼1	
小計(45科目)	—	—	51	18	0	1	2	1	1	0	兼40	
言語聴覚医学系	言語聴覚障害学概論	1前	1			1	1	1	1			
言語聴覚障害学診断学	3後	1			1							
高次脳機能障害学	高次脳機能障害学	1後	2			1						
失語・高次脳機能障害学Ⅰ	2前	2			1							
失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1							
失語・高次脳機能障害学Ⅱ	2後	2			1							
失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1							
言語発達障害学Ⅰ	2前	2				1						
言語発達障害学演習Ⅰ	2後	1				1						
言語発達障害学Ⅱ	2後	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	医学系	病理学	2前	2								兼2
	人間発達学	1後	1									兼1
	運動学	2前	2									兼1
	運動学実習	2後	1									兼1
	病態運動学実習	3前	1									兼1
	衛生学Ⅰ	2前	2									兼1
	衛生学Ⅱ	2後	2									兼5
	臨床医学系	精神医学	2前	2								兼1
	臨床神経学	3前	1									兼1
	内科学Ⅰ	2前	2								兼3	
	内科学Ⅱ	2後	2								兼1	
	小児科学	2後	1					1				
	神経内科学	2後	2									兼1
	外科学	2後	1									兼1
	耳鼻咽喉科学	3前	2									兼1
	形成外科学	3前	1									兼1
	臨床歯科医学	3前	1									兼1
	口腔外科学	3前	1									兼1
	脳神経外科学	2後	1									兼1
	リハビリテーション医学	2後	1					1				兼1
	感染症・免疫学	2後	2									兼1
薬理学	1前	1									兼1	
栄養学	1前	1									兼1	
救命救助法	1前	1									兼1	
音声・言語・聴覚医学系	呼吸発声発語系の構造・機能・病態	1後	1					1				
聴覚系の構造・機能・病態	1前	1							1			
神経系の構造・機能・病態	1前	2							1			
心理学系	臨床心理学概論	2前	2									兼1
学習・言語心理学	1後	2										兼1
生涯発達心理学	1後	2										兼1
心理的アセスメント	3前	2										兼1
社会福祉学系	社会福祉学	1後	2									兼4
リハビリテーション概論	1後	1								1		
小計(45科目)	—	—	51	18	0	1	2	1	1	0	兼42	
言語聴覚医学系	言語聴覚障害学概論	1前	1			1	1	1	1			
言語聴覚障害学診断学	3後	1			1							
高次脳機能障害学	高次脳機能障害学	1後	2					1				
失語・高次脳機能障害学Ⅰ	2前	2						1				
失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1						1				
失語・高次脳機能障害学Ⅱ	2後	2						1				
失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1						1				
言語発達障害学Ⅰ	2前	2							1			
言語発達障害学演習Ⅰ	2後	1							1			
言語発達障害学Ⅱ	2後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	言語発達障害学演習Ⅱ	3前	1					1				
	音声障害学	3前	2			1						
	構音障害学Ⅰ	2前	2						1			
	構音障害学Ⅱ	2後	2			1						
	構音障害学演習	3前	1			1			1			
	吃音学	2前	1			1						
	摂食嚥下障害学	3前	2							1		
	摂食嚥下障害学演習	3後	1							1		
	聴覚障害学Ⅰ (成人・重複障害含む)	2前	2				1					
	聴覚障害学演習Ⅰ	2後	1			1	1	1	1			
	聴覚障害学Ⅱ(小児)	2後	2						1			
	聴覚障害学演習Ⅱ	3前	1			1	1	1	1			
	聴覚補償論 (補聴器・人工内耳)	3後	1							1		
言語聴覚療法管理学	3後	2				1						
臨床実習系	見学実習	1前	1			4	2	1	1			
	評価実習	3後	4			4	2	1	1			
	総合実習	4前	10			4	2	1	1			
総合領域	臨床言語聴覚療法演習	3後	1			1	1	1	1			
	総合言語聴覚療法演習	4後	1			1	1	1	1			
	言語聴覚学研究法	3後	1			1	1	1	1			
	卒業研究	4通	3			4	2	1	1			
小計(31科目)	—	57	0	0	4	2	1	1	0	0		
合計(科目)	—	118	57	0	4	2	1	1	0	兼129		

卒業要件及び履修方法

必修118単位、基礎分野の選択科目から3単位以上、専門基礎分野の選択科目から4単位以上を修得し、125単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	言語発達障害学演習Ⅱ	3前	1					1				
	音声障害学	3前	2			1						
	構音障害学Ⅰ	2前	2							1		
	構音障害学Ⅱ	2後	2			1						
	構音障害学演習	3前	1			1			1			
	吃音学	2前	1			1						
	摂食嚥下障害学	3前	2								1	
	摂食嚥下障害学演習	3後	1							1		
	聴覚障害学Ⅰ (成人・重複障害含む)	2前	2				1					
	聴覚障害学演習Ⅰ	2後	1			1	1	1	1			
	聴覚障害学Ⅱ(小児)	2後	2							1		
	聴覚障害学演習Ⅱ	3前	1			1	1	1	1			
	聴覚補償論 (補聴器・人工内耳)	3後	1								1	
言語聴覚療法管理学	3後	2				1						
臨床実習系	見学実習	1前	1			4	2	1	1			
	評価実習	3後	4			4	2	1	1			
	総合実習	4前	10			4	2	1	1			
総合領域	臨床言語聴覚療法演習	3後	1			1	1	1	1			
	総合言語聴覚療法演習	4後	1			1	1	1	1			
	言語聴覚学研究法	3後	1			1	1	1	1			
	卒業研究	4通	3			4	2	1	1			
小計(31科目)	—	57	0	0	4	2	1	1	0	0		
合計(科目)	—	118	57	0	4	2	1	1	0	兼102		

卒業要件及び履修方法

必修118単位、基礎分野の選択科目から3単位以上、専門基礎分野の選択科目から4単位以上を修得し、132単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ より幅広い分野を学ぶため、「生命倫理学」の担当教員を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・ 上記変更に伴い、「専門基礎分野」の兼任・兼任教員数を「40」から「42」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
207 科目	124 科目	0 科目	331 科目	207 科目 [-]	124 科目 [-]	0 科目 [-]	331 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本語学	2	1	一般	選択	担当教員の退職により、開講できず。後任が見つからず、今年度は代替措置を講じていない。次年度以降に向けて、後任を探している。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「日本語学」について、担当教員の退職により開講が困難となった。
また、代替教員の調整がつかず、休講とした。
上記科目については、4月に配布している「履修案内」という冊子において、学生に周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{331} = \boxed{0.3}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	221,276.82㎡	0㎡	0㎡	221,276.82㎡				
	運動場用地	14,570.00㎡	0㎡	0㎡	14,570.00㎡				
	小 計	235,846.82㎡	0㎡	0㎡	235,846.82㎡				
	そ の 他	2,301.09㎡	0㎡	0㎡	2,301.09㎡				
	合 計	238,147.91㎡	0㎡	0㎡	238,147.91㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 用途変更のため(5) 講義棟を新設したため変更(4)				
	132,106.21㎡ 130,705.84㎡ 120,390.62㎡ (132,106.21㎡) (130,748.82㎡) (120,390.62㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	132,106.21㎡ 130,705.84㎡ 120,390.62㎡ (132,106.21㎡) (130,748.82㎡) (120,390.62㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更のため(5) 講義棟を新設したため変更(4)			
	106室 111室 99室	129室 139室 111室	70室 62室	8室 6室 (補助職員 0人)	4室 3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員が昇任及び異動したため(5)			
	保健学部 リハビリテーション学科		14 12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械・器 具	標 本			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕				電子ジャーナル		
	保健学部 リハビリテーション学科	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
		447,900 [158,951] (417,843 [155,874]) (426,700 [157,751])	14,813 [12,265] (10,823 [8,215]) (14,813 [12,265])	13,650 [12,172] (9,827 [8,181]) (13,650 [12,172])	10,852 (10,823) (10,852)	34,134 (34,134)	473 (473)		
計	447,900 [158,951] (417,843 [155,874]) (426,700 [157,751])	14,813 [12,265] (10,823 [8,215]) (14,813 [12,265])	13,650 [12,172] (9,827 [8,181]) (13,650 [12,172])	10,852 (10,823) (10,852)	34,134 (34,134)	473 (473)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 八王子図書館を利用再開したため(5)			
	6,898.30㎡		820 808	463,056					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体 増設したため(5) 八王子体育館を利用再開したため(4)			
	17,743.11㎡ 12,594.91㎡		テニスコート8面 野球場1面 テニスコート6面 弓道場1 アーチERY練習場1 屋内練習場1						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出研究科全体 図書費は学部との合計。電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	534千円	534千円	図書購入費	30,370千円	30,170千円	36,125千円	
	共同研究費等	9,000千円	9,000千円	設備購入費	9,911千円	9,911千円	9,911千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等収入、手数料収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学									平均入学定員超過率(7倍以下の学科数)	—	平均入学定員超過率(1.15倍以上の学科数)	—	収容定員充足率(0.7倍以下の学科数)	—	収容定員充足率(1.15倍以上の学科数)	—
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(A0期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
医学部																	
医学部 医学科	6	118	-	699	学士(医学)	1.00	-	1.04	0.98	令和5	昭和45	東京都三鷹市新川6-20-2	令和5年度の入学定員変更(13)※入学定員13人増は、令和5年度のみとし、それに伴う収容定員の変更の時期は、令和11年3月までとする。				
保健学部																	
保健学部 臨床検査技術学科	4	120	-	480	学士(保健衛生学)	1.04	-	1.02	1.01	-	昭和54	東京都三鷹市下連雀5-4-1	入学定員変更(70)				
保健学部 健康福祉学科	4	120	-	340	学士(保健衛生学)	1.03	-	1.02	0.98	令和4	昭和54	東京都三鷹市下連雀5-4-1 東京都八王子市宮下町476					
保健学部 看護学科		150	-	600		1.05	-	1.02	1.01	-							
保健学部 看護学専攻	4	100	-	400	学士(看護学)	1.04	-	1.00	-	-	平成6	東京都三鷹市新川6-20-2					
保健学部 看護養護教育学専攻	4	50	-	200	学士(看護学)	1.08	-	1.06	1.05	-	平成24	東京都三鷹市下連雀5-4-1					
保健学部 臨床工学科	4	60	-	240	学士(臨床工学)	1.02	-	0.99	-	-	平成18	同上					
保健学部 救急救命学科	4	50	-	200	学士(救急救命学)	1.07	-	1.03	1.02	-	平成19	同上					
保健学部 理学療法学科	4	-	-	-	学士(理学療法学)	-	-	-	-	-	平成21	同上		令和5年度より学生募集停止(△56)			
保健学部 作業療法学科	4	-	-	-	学士(作業療法学)	-	-	-	-	-	平成23	同上		令和5年度より学生募集停止(△54)			
保健学部 診療放射線技術学科	4	66	-	264	学士(診療放射線学)	1.06	-	1.03	1.00	-	平成25	同上					
保健学部 臨床心理学科	4	80	-	320	学士(臨床心理学)	1.00	-	0.96	-	-	平成30	東京都三鷹市下連雀5-4-1 東京都三鷹市新川6-20-2					
保健学部 リハビリテーション学科		140	-	140		1.05	-	1.05	-	-			令和5年4月開設				
保健学部 理学療法学専攻	4	65	-	65	学士(理学療法学)	1.12	-	1.12	-	-	令和5	東京都三鷹市下連雀5-4-1	令和5年4月開設(65)				
保健学部 作業療法学専攻	4	50	-	50	学士(作業療法学)	1.04	-	1.04	-	-	令和5	同上	令和5年4月開設(50)				
保健学部 言語聴覚療法学専攻	4	25	-	25	学士(言語聴覚療法学)	0.92	-	0.92	-	-	令和5	同上	令和5年4月開設(25)				
総合政策学部																	
総合政策学部 総合政策学科	4	150	3年次4	608	学士(総合政策学)	1.05	-	1.06	1.04	令和4	昭和59	東京都三鷹市下連雀5-4-1	令和4年度編入学定員変更(1)				
総合政策学部 企業経営学科	4	80	3年次2	324	学士(企業経営学)	1.09	-	1.11	1.08	-	平成18	同上	令和4年度編入学定員変更(△1)				
外国語学部																	
外国語学部 英語学科	4	130	3年次4	528	学士(文学)	1.12	-	1.10	1.08	-	平成18	東京都三鷹市下連雀5-4-1					
外国語学部 中国語学科	4	32	3年次2	128	学士(中国語コミュニケーション学)	0.98	-	1.00	-	令和4	平成22	同上	令和4年度入学定員変更(2)編入学定員変更(△3)				
外国語学部 観光交流文化学科	4	90	3年次2	364	学士(観光交流文化学)	0.97	-	0.99	-	-	平成22	同上	令和4年度編入学定員変更(△1)				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校においては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	跡見 友章 (51) <令和5年4月> 博士(健康科学)
		リハビリテーション解剖学 運動解剖学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 高次脳機能障害学 運動器障害系理学療法学 運動器障害系理学療法学演習 臨床理学療法学実習 臨床理学療法推論学演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 基礎理学療法学演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	石井 博之 (55) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学実習 義肢装具学 義肢装具学実習 神経障害系理学療法学 小児理学療法学 神経障害系理学療法学演習 理学療法国際事情 障害者スポーツ演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	跡見 友章 (51) <令和5年4月> 博士(健康科学)
		リハビリテーション解剖学 運動解剖学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 高次脳機能障害学 運動器障害系理学療法学 運動器障害系理学療法学演習 臨床理学療法学実習 臨床理学療法推論学演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 基礎理学療法学演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	石井 博之 (55) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学実習 義肢装具学 義肢装具学実習 神経障害系理学療法学 小児理学療法学 神経障害系理学療法学演習 理学療法国際事情 障害者スポーツ演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ リハビリテーション基礎医学 リハビリテーション基礎医学演習 人間発達学 理学療法概論 病態運動学演習 高齢者理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	八並 光信 (64) <令和5年4月> 博士(リハビリテーション学)
		理学療法評価学概論 運動療法学 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 理学療法統計学演習 理学療法研究法 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	一場 友実 (45) <令和5年4月> 博士(理学療法学)
		運動学 運動学実習 理学療法評価学実習 日常生活技術学実習 臨床理学療法学実習 理学療法国際事情 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 障害者スポーツ演習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ リハビリテーション基礎医学 リハビリテーション基礎医学演習 人間発達学 理学療法概論 病態運動学演習 高齢者理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	八並 光信 (64) <令和5年4月> 博士(リハビリテーション学)
		理学療法評価学概論 運動療法学 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 理学療法統計学演習 理学療法研究法 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	一場 友実 (45) <令和5年4月> 博士(理学療法学)
		運動学 運動学実習 理学療法評価学実習 日常生活技術学実習 臨床理学療法学実習 理学療法国際事情 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 障害者スポーツ演習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	榎本 雪絵 (54) <令和5年4月> 博士(医療福祉学)
		理学療法概論 理学療法評価学実習 高次脳機能障害学 物理療法学実習 日常生活技術学 日常生活技術学実習 臨床理学療法学実習 地域理学療法学 生活環境学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	烏山 亜紀 (47) <令和5年4月> 博士(保健学)
		理学療法概論 人間発達学 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学実習 小児理学療法学 小児理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	榎本 雪絵 (54) <令和5年4月> 博士(医療福祉学)
		理学療法概論 理学療法評価学実習 高次脳機能障害学 物理療法学実習 日常生活技術学 日常生活技術学実習 臨床理学療法学実習 地域理学療法学 生活環境学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	烏山 亜紀 (47) <令和5年4月> 博士(保健学)
		理学療法概論 人間発達学 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学実習 小児理学療法学 小児理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木村 雅彦 (55) <令和5年4月> 博士(保健科学)
		理学療法用語論 運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動療法学実習 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学演習 急性期理学療法学 臨床理学療法学実習 理学療法管理学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	倉林 準 (52) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態運動学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法評価学実習 物理療法学実習 日常生活技術学実習 運動器障害系理学療法学演習 スポーツ障害理学療法学 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 理学療法解析手法演習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 雅彦 (55) <令和5年4月> 博士(保健科学)
		理学療法用語論 運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動療法学実習 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学演習 急性期理学療法学 臨床理学療法学実習 理学療法管理学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	倉林 準 (52) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態運動学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法評価学実習 物理療法学実習 日常生活技術学実習 運動器障害系理学療法学演習 スポーツ障害理学療法学 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 理学療法解析手法演習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	橋立 博幸 (45) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション概論 理学療法評価学概論 理学療法評価学演習Ⅰ 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法評価学実習 物理療法学実習 日常生活技術学実習 神経障害系理学療法学 神経障害系理学療法学演習 高齢者理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	村松 憲 (43) <令和5年4月> 博士(保健学)
		理学療法用語論 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 物理療法学 物理療法学実習 義肢装具学実習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	藤澤 祐基 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション解剖学実習 動作分析学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	橋立 博幸 (45) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション概論 理学療法評価学概論 理学療法評価学演習Ⅰ 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法評価学実習 物理療法学実習 日常生活技術学実習 神経障害系理学療法学 神経障害系理学療法学演習 高齢者理学療法学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	村松 憲 (43) <令和5年4月> 博士(保健学)
		理学療法用語論 理学療法評価学演習Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 物理療法学 物理療法学実習 義肢装具学実習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	藤澤 祐基 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション解剖学実習 動作分析学演習 臨床理学療法学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	松村 将司 (39) <令和5年4月> 博士(保健学)
		運動解剖学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動器障害系理学療法演習 徒手理学療法演習 臨床理学療法実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法演習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 情報処理論 理学療法概論 運動学演習 運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動療法実習 臨床理学療法実習 障害者スポーツ演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究
専	助教	相原 圭太 (38) <令和5年4月> 修士(保健学)
		動作分析学演習 義肢装具学実習 臨床理学療法実習 障害者スポーツ演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	松村 将司 (39) <令和5年4月> 博士(保健学)
		運動解剖学演習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動器障害系理学療法演習 徒手理学療法演習 臨床理学療法実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法演習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 情報処理論 理学療法概論 運動学演習 運動学実習 理学療法評価学演習Ⅱ 理学療法治療学総論 運動療法実習 臨床理学療法実習 障害者スポーツ演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究
専	助教	相原 圭太 (38) <令和5年4月> 修士(保健学)
		動作分析学演習 義肢装具学実習 臨床理学療法実習 障害者スポーツ演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 基礎理学療法演習Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	花房 京佑 (32) <令和5年4月> 学士(理学療法学)
		運動解剖学演習 理学療法評価学実習 臨床理学療法実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
兼任	教授	相磯 聡子 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学概論
兼任	教授	阿部 展次 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	石井 晴之 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	市村 正一 (68) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	花房 京佑 (32) <令和5年4月> 学士(理学療法学)
		運動解剖学演習 理学療法評価学実習 臨床理学療法実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 地域理学療法実習 総合臨床実習 応用理学療法学演習 基礎理学療法学演習Ⅰ 卒業研究
専	助教	松嶋 真哉 (37) <令和5年4月> 博士(保健学)
		見学実習
兼任	教授	嵐 洋子 (46) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学 I
兼任	教授	井上 真 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	井本 滋 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	岩本 和良 (48) <令和5年4月> Doctor of Philosophy
		社会と大学 III
兼任	教授	大山 学 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	大嶺 智子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来 I リハビリテーション医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学 I
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		リハビリテーション医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 社会と大学 I
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学 II
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	加藤 雅江 (54) <令和5年4月> 文学士
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	要 伸也 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学 I
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 社会と大学 I
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学 I
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学 II
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 勉 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	窪田 博 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	神崎 恒一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	木暮 健太郎 (51) <令和5年4月> 修士(政治学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	小林 陽一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	近藤 晴彦 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	小堀 貴亮 (49) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 康一郎 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	斉藤 崇 (49) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	坂本 ロビン (59) <令和5年4月> 博士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	塩川 芳昭 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学概論
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		発達心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学概論
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		心理学 発達心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	副島 京子 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	多久嶋 亮彦 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	滝 智彦 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学
兼任	教授	田中 浩輔 (61) <令和5年4月> 理学博士
		基礎生物学
兼任	教授	田中 信弘 (62) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	樽井 武彦 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	滝 智彦 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学
兼任	教授	田口 晴彦 (64) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ 保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学 I
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		公衆衛生学 II
兼任	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学 II
兼任	教授	西 孝 (61) <令和5年4月> 経済学修士
		社会と大学 II
兼任	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学 II
兼任	教授	久松 理一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	平形 明人 (66) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	平野 照之 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学 I
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		公衆衛生学 II
兼任	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学 I
兼任	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学 I
兼任	教授	久松 理一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
兼任	教授	平形 明人 (66) <令和5年4月> 医学博士
兼任	教授	平野 照之 (60) <令和5年4月> 博士(医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論 保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	福原 浩 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	古瀬 純司 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	宮首 弘子 (59) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	山口 芳裕 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	真野 靖久 (61) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学
兼任	教授	横山 健一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	萬 知子 (63) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	渡邊 衡一郎 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	大川 昌利 (66) <令和5年4月> Master of Laws
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学
兼任	准教授	石井 さなえ (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		生化学概論
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学 I
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		保健・医療の現状と未来 II 栄養学
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学 II 産業保健学 労働衛生法規 I
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学 II
兼任	准教授	北田 真理 (51) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学 I
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		栄養学
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学 II 産業保健学 労働衛生法規 I
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学 I
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小寺 正純 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科学
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規Ⅰ
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学
兼任	准教授	高田 京子 (50) <令和5年4月> 修士(商学)
		社会と大学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小寺 正純 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科学
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規Ⅰ
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	中村 美奈子 (49) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		心理学
兼任	准教授	西山 桂子 (47) <令和5年4月> 博士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	長谷部 弘道 (39) <令和5年4月> 博士(社会学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論
兼任	准教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		解剖学 解剖学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論
兼任	教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		生命科学概論 解剖学 解剖学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松井 孝太 (36) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	三浦 秀之 (40) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学概論
兼任	准教授	八木橋 宏勇 (43) <令和5年4月> 修士(文学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼任	准教授	吉田 清隆 (54) <令和5年4月> 博士(物理学)
		統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学概論
兼任	准教授	森 和 (48) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	尾崎 愛美 (39) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		日本国憲法 日本語学 社会と大学Ⅰ
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅱ
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	講師	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	伊藤 慎 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	講師	黒子 彩子 (46) <令和5年4月> 修士(教育学)
		職業適性論
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	准教授	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学 I 生理学 II 生理学実習
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学 I 生理学 II 生理学実習
兼任	講師	Chunmei Huang (48) <令和5年4月> Master of Russian Language and Culture
		社会と大学 I
兼任	講師	寺島 涼子 (47) <令和5年4月> 修士(看護学)
		生命倫理学
兼任	講師	西田 豊 (40) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		統計学
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼任	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	稲田 成作 (44) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	井上 功三朗 (49) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼任	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	講師	渡邊 俊 (38) <令和5年4月> 修士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	稲田 成作 (44) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	井上 功三朗 (49) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	坂倉 健吾 (47) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科学
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学
兼任	助教	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		公衆衛生学Ⅱ 保健・医療の現状と未来Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	坂倉 健吾 (47) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科学
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学
兼任	助教	長谷川 和子 (47) <令和5年4月> 修士(人間学)
		生命倫理学
兼任	助教	場家 美沙紀 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		生命倫理学
兼任	講師	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	福田 実乃里 (31) <令和5年4月> 修士(保健学)
		社会福祉学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	客員教授	知原 信良 (67) <令和5年4月> 経済学士
		社会と大学Ⅱ
兼任	客員教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	岩隈 道洋 (49) <令和5年4月> 修士(法学)
		労働衛生法規Ⅱ
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) <令和5年4月> Bachelor of Science(Biology)
		英会話
兼任	講師	大石 有香 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) <令和5年4月> 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) <令和5年4月> Bachelor of Arts
		英会話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	客員教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	岩隈 道洋 (49) <令和5年4月> 修士(法学)
		労働衛生法規Ⅱ
兼任	講師	岩澤 忠彦 (69) <令和5年4月> 法学士
		日本語表現法
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) <令和5年4月> Bachelor of Science(Biology)
		英会話
兼任	講師	大石 有香 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) <令和5年4月> 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) <令和5年4月> Bachelor of Arts
		英会話

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 伊式 (68) <令和5年4月> 修士(日本語教育学)
		日本語表現法
兼任	講師	廣田 尚美 (53) <令和5年4月> 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 英語読解 保健医療英語
兼任	講師	古川 佳子 (67) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学
兼任	講師	吉江 秀和 (47) <令和5年4月> 修士(文学)
		芸術

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 伊式 (68) <令和5年4月> 修士(日本語教育学)
		日本語表現法
兼任	講師	廣田 尚美 (53) <令和5年4月> 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 英語読解 保健医療英語
兼任	講師	古川 佳子 (67) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学
兼任	講師	吉江 秀和 (47) <令和5年4月> 修士(文学)
		芸術

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

<保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	近藤 知子 (62) <令和5年4月> 博士(作業科学)
		作業分析学 作業分析学演習 作業療法諸理論 身体障害作業療法学Ⅰ 義肢装具学 義肢装具学実習 作業療法国際事情 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	田口 晴彦 (64) <令和5年4月> 医学博士
		見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	近藤 知子 (62) <令和5年4月> 博士(作業科学)
		作業分析学 作業分析学演習 作業療法諸理論 身体障害作業療法学Ⅰ 義肢装具学 義肢装具学実習 ハンドセラピー概論 作業療法国際事情 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	田口 晴彦 (64) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ 保健・医療の現状と未来Ⅱ 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 長)	丹羽 正利 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション解剖学実習 運動学 運動学実習 病態運動学実習 作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	長谷川 利夫 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション概論 作業療法学概論 基礎作業学概論 作業療法評価学Ⅰ(総論) 作業療法評価学Ⅱ(疾患別) 精神障害作業療法学Ⅰ 精神障害作業療法学Ⅱ 職業関連作業療法学 レクリエーション概論 作業療法管理学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 長)	丹羽 正利 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		運動学 運動学実習 病態運動学実習 作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	長谷川 利夫 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション概論 作業療法学概論 作業療法評価学Ⅰ(総論) 作業療法評価学Ⅱ(疾患別) 精神障害作業療法学Ⅰ 精神障害作業療法学Ⅱ 職業関連作業療法学 レクリエーション概論 作業療法管理学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	望月 秀樹 (59) <令和5年4月> 博士(作業療法)
		情報処理論 作業療法学概論 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅰ 老年期障害作業療法学 地域生活作業療法学 地域ケアシステム学 地域生活作業療法学演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	岩崎 也生子 (45) <令和5年4月> 博士(教育学)
		作業分析学演習 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学演習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能代償学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	望月 秀樹 (59) <令和5年4月> 博士(作業療法)
		情報処理論 作業療法学概論 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅰ 老年期障害作業療法学 地域生活作業療法学 地域ケアシステム学 地域生活作業療法学演習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	岩崎 也生子 (45) <令和5年4月> 博士(教育学)
		作業分析学 作業分析学演習 作業療法評価学Ⅰ(総論) 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学演習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能代償学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論 作業療法学概論 基礎作業学実習 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神障害) 認知機能評価法 精神障害作業療法学演習 クリニカルリーズニング 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	鈴木 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		人間発達学 基礎作業学実習 作業療法評価学Ⅱ(疾患別) 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神障害) 発達障害作業療法学Ⅰ 発達障害作業療法学Ⅱ 発達障害作業療法学演習 職業関連作業療法学 バリアフリー概論 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論 作業療法学概論 基礎作業学実習 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神障害) 認知機能評価法 精神障害作業療法学演習 クリニカルリーズニング 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	鈴木 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		人間発達学 基礎作業学実習 作業療法評価学Ⅱ(疾患別) 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神障害) 発達障害作業療法学Ⅰ 発達障害作業療法学Ⅱ 発達障害作業療法学演習 職業関連作業療法学 バリアフリー概論 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 優喜子 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法学演習 日常生活活動学Ⅱ(疾患別) クリニカルリーズニング 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	長島 泉 (52) <令和5年4月> 博士(保健学)
		基礎作業学実習 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神 障害) 福祉用具適応学 クリニカルリーズニング 住環境整備学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	鈴木 優喜子 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法学演習 日常生活活動学Ⅱ(疾患別) クリニカルリーズニング 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	長島 泉 (52) <令和5年4月> 博士(保健学)
		基礎作業学概論 基礎作業学実習 作業療法評価学実習Ⅱ(発達、精神 障害) 福祉用具適応学 クリニカルリーズニング 住環境整備学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原田 祐輔 (39) <令和5年4月> 博士(保健学)
		作業療法学概論 作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法学演習 日常生活活動学Ⅰ(総論) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	大城 直美 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション解剖学 リハビリテーション解剖学実習 運動学実習 病態運動学実習 作業療法評価学Ⅰ(総論) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	原田 祐輔 (39) <令和5年4月> 博士(保健学)
		作業療法学概論 作業療法評価学実習Ⅰ(中枢神経障 害) 作業療法評価学実習Ⅲ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法学演習 日常生活活動学Ⅰ(総論) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	大城 直美 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション解剖学 リハビリテーション解剖学実習 運動学実習 病態運動学実習 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	白石 めぐみ (35) <令和5年4月> 修士(リハビリテーション)
		日常生活活動学Ⅱ(疾患別) 職業関連作業療法学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	津曲 優子 (42) <令和5年4月> 修士(保健学)
		リハビリテーション解剖学実習 認知機能評価法 認知障害作業療法学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	人見 太一 (42) <令和5年4月> 修士(健康心理学)
		情報処理論 日常生活活動学Ⅰ(総論) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	白石 めぐみ (35) <令和5年4月> 修士(リハビリテーション)
		リハビリテーション解剖学実習 基礎作業学実習 日常生活活動学Ⅱ(疾患別) 職業関連作業療法学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	津曲 優子 (42) <令和5年4月> 修士(保健学)
		作業分析学演習 認知機能評価法 認知障害作業療法学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	人見 太一 (42) <令和5年4月> 博士(学術)
		情報処理論 日常生活活動学Ⅰ(総論) 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	前田 直 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		作業療法評価学Ⅱ(疾患別) 身体障害作業療法学演習 義肢装具学 義肢装具学実習 ハンドセラピー概論 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 地域・訪問実習 作業療法学演習Ⅰ 作業療法学演習Ⅱ 作業療法学演習Ⅲ 作業療法学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	相磯 聡子 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学概論
兼任	教授	阿部 展次 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	石井 晴之 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	相磯 聡子 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学概論
兼任	教授	嵐 洋子 (46) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	市村 正一 (68) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	井上 真 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	井本 滋 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ
兼任	教授	岩本 和良 (48) <令和5年4月> Doctor of Philosophy
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	大山 学 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	大嶺 智子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ 保健・医療の現状と未来Ⅱ リハビリテーション医学
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	加藤 雅江 (54) <令和5年4月> 文学士
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	要 伸也 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		リハビリテーション医学
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 社会と大学Ⅰ
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	北島 勉 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会と大学 II
兼任	教授	窪田 博 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学 III
兼任	教授	神崎 恒一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	木暮 健太郎 (51) <令和5年4月> 修士(政治学)
		社会と大学 I
兼任	教授	小林 陽一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	近藤 晴彦 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学 III
兼任	教授	小堀 貴亮 (49) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学 III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 康一郎 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	齊藤 崇 (49) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	坂本 ロビン (59) <令和5年4月> 博士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	塩川 芳昭 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		発達心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		発達心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	副島 京子 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	多久嶋 亮彦 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	滝 智彦 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学
兼任	教授	田中 浩輔 (61) <令和5年4月> 理学博士
		職業適性論 基礎生物学
兼任	教授	田中 信弘 (62) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	樽井 武彦 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		公衆衛生学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	滝 智彦 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		公衆衛生学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅱ
兼担	教授	西 孝 (61) <令和5年4月> 経済学修士
		社会と大学Ⅱ
兼担	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅱ
兼担	教授	久松 理一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼担	教授	平形 明人 (66) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼担	教授	平野 照之 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼担	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論 保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼担	教授	福原 浩 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼担	教授	古瀬 純司 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅰ
兼担	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅰ
兼担	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	宮首 弘子 (59) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	山口 芳裕 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学 物理学概論
兼任	教授	横山 健一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	萬 知子 (63) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	真野 靖久 (61) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学 物理学概論
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 衡一郎 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学 I
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法
兼任	准教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学
兼任	准教授	石井 さなえ (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		生化学概論
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学 I
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		栄養学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学 I
兼任	特任教授	大川 昌利 (66) <令和5年4月> Master of Laws
		社会と大学 I
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法
兼任	教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		栄養学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学Ⅱ 産業保健学 労働衛生法規Ⅰ
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	北田 真理 (51) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	准教授	小寺 正純 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科学
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学Ⅱ 産業保健学 労働衛生法規Ⅰ
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	准教授	小寺 正純 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科学
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		人類遺伝学 生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規 I
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学
兼任	准教授	高田 京子 (50) <令和5年4月> 修士(商学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	中村 美奈子 (49) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		心理学
兼任	准教授	西山 桂子 (47) <令和5年4月> 博士(観光学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		人類遺伝学 生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規 I
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	中村 美奈子 (49) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		心理学
兼任	准教授	西山 桂子 (47) <令和5年4月> 博士(観光学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長谷部 弘道 (39) <令和5年4月> 博士(社会学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	松井 孝太 (36) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	三浦 秀之 (40) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	准教授	八木橋 宏勇 (43) <令和5年4月> 修士(文学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	准教授	森 和 (48) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼任	准教授	吉田 清隆 (54) <令和5年4月> 博士(物理学)
		統計学
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	尾崎 愛美 (39) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		日本国憲法 日本語学 社会と大学Ⅰ
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	伊藤 慎 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	講師	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒子 彩子 (46) <令和5年4月> 修士(教育学)
		職業適性論
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	准教授	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	講師	Chunmei Huang (48) <令和5年4月> Master of Russian Language and Culture
		社会と大学Ⅰ
兼任	講師	寺島 涼子 (47) <令和5年4月> 修士(看護学)
		生命倫理学
兼任	講師	西田 豊 (40) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		統計学
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論 分子生物学
兼任	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼任	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	稲田 成作 (44) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論 分子生物学
兼任	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼任	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	講師	渡邊 俊 (38) <令和5年4月> 修士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	稲田 成作 (44) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	井上 功三朗 (49) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	坂倉 健吾 (47) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	佐藤 行紀 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	井上 功三朗 (49) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	坂倉 健吾 (47) <令和5年4月> 学士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	佐藤 行紀 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		公衆衛生学Ⅱ 保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	客員 教授	知原 信良 (67) <令和5年4月> 経済学士
		社会と大学Ⅱ
兼任	客員 教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	岩隈 道洋 (49) <令和5年4月> 修士(法学)
		労働衛生法規Ⅱ
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) <令和5年4月> Bachelor of Science(Biology)
		英会話

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	長谷川 和子 (47) <令和5年4月> 修士(人間学)
		生命倫理学
兼任	助教	場家 美沙紀 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		生命倫理学
兼任	講師	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		公衆衛生学Ⅱ
兼任	助教	福田 実乃里 (31) <令和5年4月> 修士(保健学)
		社会福祉学
兼任	客員 教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		神経内科学
兼任	講師	岩隈 道洋 (49) <令和5年4月> 修士(法学)
		労働衛生法規Ⅱ
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) <令和5年4月> Bachelor of Science(Biology)
		英会話

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大石 有香 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) <令和5年4月> 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) <令和5年4月> Bachelor of Arts
		英会話
兼任	講師	田中 伊式 (68) <令和5年4月> 修士(日本語教育学)
		日本語表現法
兼任	講師	廣田 尚美 (53) <令和5年4月> 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 英語読解 保健医療英語
兼任	講師	古川 佳子 (67) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学概論
兼任	講師	吉江 秀和 (47) <令和5年4月> 修士(文学)
		芸術

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大石 有香 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) <令和5年4月> 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) <令和5年4月> Bachelor of Arts
		英会話
兼任	講師	田中 伊式 (68) <令和5年4月> 修士(日本語教育学)
		日本語表現法
兼任	講師	廣田 尚美 (53) <令和5年4月> 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 保健医療英語
兼任	講師	古川 佳子 (67) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学概論
兼任	講師	吉江 秀和 (47) <令和5年4月> 修士(文学)
		芸術
兼任	講師	和田 望 (42) <令和5年4月> 修士(英語教授法: Master of Arts, TESOL)
		英語読解

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡辺 由希 (40) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		心理学

<保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	教授 (学科長)	石毛 美代子 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		言語聴覚障害学概論 言語聴覚障害診断学 音声障害学 吃音学 構音障害学Ⅱ 構音障害学演習 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池田 一磨 (57) <令和5年4月> 博士(数学)
		数学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	教授 (学科長)	石毛 美代子 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		呼吸発声発語系の構造・機能・病態 言語聴覚障害学概論 言語聴覚障害診断学 音声障害学 吃音学 構音障害学Ⅱ 構音障害学演習 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ 保健・医療の現状と未来Ⅱ リハビリテーション医学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	教授	竹田 里江 (47) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	准教授	石井 由起 (48) <令和5年4月> 博士(行動科学)
		心理言語学 言語聴覚障害学概論 高次脳機能障害学 失語・高次脳機能障害学Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 聴覚障害学Ⅰ(成人・重複障害含 む) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚療法管理学 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
専	准教授	小林 賢子 (54) <令和5年4月> 修士(保健学)
		小児科学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	岡島 康友 (69) <令和5年4月> 医学博士
		リハビリテーション医学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	教授	竹田 里江 (47) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究
専	准教授	石井 由起 (48) <令和5年4月> 博士(行動科学)
		心理言語学 言語聴覚障害学概論 高次脳機能障害学 失語・高次脳機能障害学Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 聴覚障害学Ⅰ(成人・重複障害含 む) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚療法管理学 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
専	准教授	小林 賢子 (54) <令和5年4月> 修士(保健学)
		小児科学 見学実習 評価実習 総合実習 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	大森 路恵 (39) <令和5年4月> 博士(小児発達学)
		言語発達学 言語聴覚障害学概論 言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅱ 聴覚障害学Ⅱ(小児) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
専	助教	間藤 翔悟 (35) <令和5年4月> 修士(老年学)
		呼吸発声発語系の構造・機能・病態 聴覚系の構造・機能・病態 神経系の構造・機能・病態 言語聴覚障害学概論 構音障害学Ⅰ 構音障害学演習 摂食嚥下障害学 摂食嚥下障害学演習 聴覚補償論(補聴器・人工内耳) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
兼担	教授	相磯 聡子 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	大森 路恵 (39) <令和5年4月> 博士(小児発達学)
		言語発達学 聴覚系の構造・機能・病態 言語聴覚障害学概論 言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅱ 聴覚障害学Ⅱ(小児) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
専	助教	間藤 翔悟 (35) <令和5年4月> 修士(老年学)
		リハビリテーション概論 言語聴覚障害学概論 神経系の構造・機能・病態 構音障害学Ⅰ 構音障害学演習 摂食嚥下障害学 摂食嚥下障害学演習 聴覚補償論(補聴器・人工内耳) 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 見学実習 評価実習 総合実習 臨床言語聴覚療法演習 総合言語聴覚療法演習 言語聴覚学研究法 卒業研究
兼担	教授	相磯 聡子 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 展次 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	石井 晴之 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	市村 正一 (68) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	井上 真 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	井本 滋 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ
兼任	教授	岩本 和良 (48) <令和5年4月> Doctor of Philosophy
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	嵐 洋子 (46) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	伊藤 敦司 (62) <令和5年4月> 法学修士
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	岩楯 桜子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大山 学 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	大嶺 智子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	加藤 雅江 (54) <令和5年4月> 文学士
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	要 伸也 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岡村 裕 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論 社会と大学Ⅰ
兼任	教授	小田 信之 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	岡田 洋二 (60) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	教授	片桐 朝美 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		社会福祉学
兼任	教授	川村 真理 (58) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	北島 勉 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会と大学 II
兼任	教授	窪田 博 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学 III
兼任	教授	神崎 恒一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	木暮 健太郎 (51) <令和5年4月> 修士(政治学)
		社会と大学 I
兼任	教授	小林 陽一 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸野 智則 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	倉林 秀男 (46) <令和5年4月> 博士(英語学)
		社会と大学 III
兼任	教授	小堀 貴亮 (49) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学 III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	近藤 晴彦 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	齋藤 康一郎 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	齋藤 智志 (60) <令和5年4月> 修士(文学)
		教育学
兼任	教授	齊藤 崇 (49) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	坂本 ロビン (59) <令和5年4月> 博士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	塩川 芳昭 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 智志 (60) <令和5年4月> 修士(文学)
		教育学
兼任	教授	柴田 茂貴 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		内科学 I
兼任	教授	島田 厚良 (60) <令和5年4月> 医学博士
		病理学
兼任	教授	志村 良浩 (61) <令和5年4月> 社会科学士
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		学習・言語心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学 I
兼任	教授	副島 京子 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	多久嶋 亮彦 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	田中 浩輔 (61) <令和5年4月> 理学博士
		職業適性論 基礎生物学
兼任	教授	田中 信弘 (62) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学 II
兼任	教授	樽井 武彦 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学 III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	下島 裕美 (53) <令和5年4月> 博士(心理学)
		生涯発達心理学
兼任	教授	進邦 徹夫 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学 I
兼任	教授	田口 晴彦 (64) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来 I 保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	田中 浩輔 (61) <令和5年4月> 理学博士
		基礎生物学
兼任	教授	千野 万里子 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学 III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医学総論 衛生学Ⅰ
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		衛生学Ⅱ
兼任	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	西 孝 (61) <令和5年4月> 経済学修士
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅱ
兼任	教授	久松 理一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	平形 明人 (66) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	平野 照之 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論 保健・医療の現状と未来Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	出嶋 靖志 (62) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医学総論 衛生学Ⅰ
兼任	教授	照屋 浩司 (64) <令和5年4月> 医学博士
		衛生学Ⅱ
兼任	教授	内藤 高雄 (60) <令和5年4月> 博士(経済学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	原田 奈々子 (59) <令和5年4月> 商学修士
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	福長 一義 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福原 浩 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I
兼任	教授	古瀬 純司 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 II
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	宮首 弘子 (59) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	村部 妙美 (62) <令和5年4月> 社会学修士
		心理的アセスメント
兼任	教授	山口 芳裕 (62) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古本 泰之 (46) <令和5年4月> 修士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	真野 靖久 (61) <令和5年4月> 修士(経営学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	教授	村部 妙美 (62) <令和5年4月> 社会学修士
		心理的アセスメント
兼任	教授	望月 秀樹 (59) <令和5年4月> 博士(作業療法)
		情報処理論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学 物理学概論
兼任	教授	横山 健一 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	教授	萬 知子 (63) <令和5年4月> 医学博士
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	渡邊 衡一郎 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健・医療の現状と未来Ⅰ
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 深 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学
兼任	教授	山田 慎 (56) <令和5年4月> 博士(学術)
		基礎物理学 物理学概論
兼任	教授	劉 迪 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	教授	渡辺 剛 (53) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	大川 昌利 (66) <令和5年4月> Master of Laws
		社会と大学Ⅰ
兼任	特任教授	宮野 收 (63) <令和5年4月> 経済学士
		救命救助法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	石井 さなえ (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		生化学概論
兼任	准教授	一場 友実 (46) <令和5年4月> 博士(理学療法)
		運動学 運動学実習
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		保健・医療の現状と未来Ⅱ 栄養学
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学Ⅱ
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	北田 真理 (51) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一場 友実 (46) <令和5年4月> 博士(理学療法)
		運動学 運動学実習
兼任	准教授	大西 健司 (41) <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	大久 朋子 (49) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		栄養学
兼任	准教授	岡本 博照 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論 内科学Ⅱ
兼任	准教授	糟谷 崇 (50) <令和5年4月> 博士(商学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藏田 訓 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		職業適性論
兼任	准教授	小林 博子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		人類遺伝学 生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学
兼任	准教授	高田 京子 (50) <令和5年4月> 修士(商学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	西山 桂子 (47) <令和5年4月> 博士(観光学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	長谷部 弘道 (39) <令和5年4月> 博士(社会学)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論 リハビリテーション概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	島村 直幸 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	角田 ますみ (55) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		人類遺伝学 生命倫理学
兼任	准教授	関 健介 (51) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼任	准教授	高津 博勝 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎化学
兼任	准教授	高田 京子 (50) <令和5年4月> 修士(商学)
兼任	准教授	瀧上 周 (52) <令和5年4月> 博士(獣医学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	西山 桂子 (47) <令和5年4月> 博士(観光学)
兼任	准教授	長谷部 弘道 (39) <令和5年4月> 博士(社会学)
兼任	准教授	早坂 友成 (46) <令和5年4月> 博士(保健医療学)
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	松井 孝太 (36) <令和5年4月> 修士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	三浦 秀之 (40) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅱ
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	准教授	八木橋 宏勇 (43) <令和5年4月> 修士(文学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	半田 英俊 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	藤原 究 (47) <令和5年4月> 博士(法学)
		社会と大学Ⅰ
兼任	准教授	堀口 幸太郎 (45) <令和5年4月> 博士(農学)
		解剖学 解剖学実習
兼任	准教授	水谷 奈津子 (58) <令和5年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	准教授	森 和 (48) <令和5年4月>
		社会と大学Ⅲ
兼任	准教授	安江 枝里子 (46) <令和5年4月> 博士(人文地理学)
		社会と大学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼任	准教授	吉田 清隆 (54) <令和5年4月> 博士(物理学)
		統計学 情報処理論
兼任	講師	池田 哲也 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床歯科医学 口腔外科学
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	講師	尾崎 愛美 (39) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		日本国憲法 社会と大学Ⅰ
兼任	講師	尾崎 峰 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	八巻 明子 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼任	講師	池田 哲也 (55) <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床歯科医学 口腔外科学
兼任	講師	池田 尚広 (37) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	石野 晶子 (47) <令和5年4月> 修士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	講師	尾崎 峰 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学
兼任	講師	加藤 拓 (51) <令和5年4月> 修士(学術)
		社会と大学Ⅰ
兼任	講師	黒子 彩子 (46) <令和5年4月>
		職業適性論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		人間発達学
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	講師	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(作業療法学)
		人間発達学
兼任	講師	須田 健二 (53) <令和5年4月> 修士(工学)
		職業適性論
兼任	准教授	関澤 浩一 (58) <令和5年4月> 博士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	講師	瀬野 晋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習
兼任	講師	Chunmei Huang (48) <令和5年4月> Master of Russian Language and Culture
		社会と大学Ⅰ
兼任	講師	寺島 涼子 (47) <令和5年4月> 修士(看護学)
		生命倫理学
兼任	講師	西田 豊 (40) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		統計学
兼任	講師	長谷川 瑠美 (44) <令和5年4月> 博士(保健学)
		解剖学 解剖学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	古川 綾子 (52) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学概論 言語の表現法 言語学 音声学 音響学・聴覚心理学
兼担	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼担	講師	増田 正次 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学
兼担	講師	三浦 大志 (37) <令和5年4月> 博士(心理学)
		生涯発達心理学
兼担	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼担	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼担	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼担	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	古川 綾子 (52) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		臨床心理学概論 音響学・聴覚心理学
兼担	講師	藤田 由香利 (37) <令和5年4月> 博士(学術)
		社会と大学Ⅲ
兼担	講師	増田 正次 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学
兼担	講師	村田 麻喜子 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生化学概論
兼担	講師	森 数美 (59) <令和5年4月> 博士(保健学)
		精神医学 外科学 脳神経外科学
兼担	講師	門馬 博 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		職業適性論
兼担	講師	渡辺 篤志 (50) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	大城 直美 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態運動学実習
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡辺 俊 (38) <令和5年4月> 修士(教育学)
		社会と大学Ⅲ
兼任	講師	渡辺 登 (61) <令和5年4月> 博士(保健学)
		感染症・免疫学
兼任	助教	井上 敦 (38) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		社会福祉学
兼任	助教	大城 直美 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態運動学実習
兼任	助教	小原 映 (35) <令和5年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	助教	楠田 美奈 (41) <令和5年4月> 修士(保健学)
		衛生学Ⅱ
兼任	助教	木暮 英輝 (35) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生理学実習
兼任	助教	東宮 繁人 (31) <令和5年4月> 博士(体育科学)
		社会福祉学
兼任	助教	長谷川 和子 (47) <令和5年4月> 修士(人間学)
		生命倫理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		衛生学Ⅱ 保健・医療の現状と未来Ⅱ
兼任	客員教授	知原 信良 (67) <令和5年4月>
		社会と大学Ⅱ
兼任	客員教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		臨床神経学 神経内科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	場家 美沙紀 (43) <令和5年4月> 修士(保健学)
		生命倫理学
兼任	助教	人見 太一 (42) <令和5年4月> 博士(学術)
		情報処理論
兼任	講師	平澤 愛 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		衛生学Ⅱ
兼任	助教	福田 実乃里 (31) <令和5年4月> 修士(保健学)
		社会福祉学
兼任	客員教授	荒川 みどり (65) <令和5年4月> 文学修士
		言語学
兼任	客員教授	渡部 和彦 (67) <令和5年4月> 医学博士
		臨床神経学 神経内科学
兼任	講師	浅野 恵子 (57) <令和5年4月> 修士(教育学)
		音声学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Science(Biology)
		英会話
兼任	講師	大石 有香 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts
		英会話
兼任	講師	廣田 尚美 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 英語読解 保健医療英語
兼任	講師	吉江 秀和 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		芸術

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 晴菜 (28) ＜令和5年4月＞ 修士(心理学)
		学習・言語心理学
兼任	講師	Eric Eugene Trautman (55) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Science(Biology)
		英会話
兼任	講師	大石 有香 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		ことばと社会
兼任	講師	尾崎 萌子 (32) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		医学英語
兼任	講師	James Donald Baldwin (58) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts
		英会話
兼任	講師	田中 伊式 (68) ＜令和5年4月＞ 修士(日本語教育学)
		言語の表現法
兼任	講師	塚原 麻衣 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		英語読解
兼任	講師	廣田 尚美 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		英語プレゼンテーション 保健医療英語
兼任	講師	吉江 秀和 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		芸術

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報と)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認して
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**で
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科
の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

理学療法学専攻

【令和5年度】

・木村 雅彦	令和5年4月1日付けで教授に昇任。
・松嶋 真哉	令和5年4月1日付けで専任助教として就任。 担当授業科目は「見学実習」。
・相磯 聡子	「生命科学概論」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・阿部 展次	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・嵐 洋子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・石井 晴之	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・市村 正一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井上 真	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井本 滋	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・岩本 和良	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・大山 学	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大嶺 智子	令和5年3月31日付けて退職。
・岡島 康友	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・小田 信之	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・加藤 雅江	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・要 伸也	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・川村 真理	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」から「社会と大学Ⅱ」の担当に変更。
・北島 勉	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・窪田 博	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・神崎 恒一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・木暮 健太郎	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・小林 陽一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・小堀 貴亮	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・近藤 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・齋藤 康一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・斉藤 崇	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・坂本 ロビン	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・塩川 芳昭	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・下島 裕美	中村美奈子兼任准教授に代わり、「心理学」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・副島 京子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・多久嶋 亮彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・田口 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の開講形態変更に伴い、この2科目を担当することとなり、兼任教授に就任。
・田中 浩輔	「基礎生物学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・田中 信弘	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・樽井 武彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・内藤 高雄	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・西 孝	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・原田 奈々子	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・久松 理一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平形 明人	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平野 照之	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・福長 一義	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・福原 浩	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・古瀬 純司	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・真野 康久	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任教授に就任。
・宮首 弘子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・山口 芳裕	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・横山 健一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・萬 知子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・渡邊 衛一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大川 昌利	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員となり、兼任特任教授に就任。
・石井 さなえ	「生化学概論」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・大西 健司	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、担当授業科目から削除。 また、尾崎愛美兼任講師に代わり、「日本国憲法」を担当することとなり、担当授業科目に追加。

- ・糟谷 崇 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
- ・北田 真理 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・高田 京子 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・中村 美奈子 「心理学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
- ・西山 桂子 外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・長谷部 弘道 令和5年3月31日付けで退職。
- ・半田 英俊 令和5年4月1日付けで教授に昇任。
- ・堀口 幸太郎 相磯聡子兼任教授に代わり、「生命科学概論」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
- ・松井 孝太 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・三浦 秀之 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・森 和 外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任准教授に就任。
- ・八木橋 宏勇 外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・吉田 清隆 「統計学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
- ・伊藤 慎 田中浩輔兼任教授に代わり、「基礎生物学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
- ・尾崎 愛美 令和5年3月31日付けで退職。
- ・加藤 拓 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
- ・黒子 彩子 大嶺智子兼任教授に代わり、「職業適性論」を担当することとなり、兼任講師に就任。
- ・関澤 浩一 令和5年4月1日付けで准教授に昇任。
- ・Chunmei Huang 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当となり、兼任講師に就任。
- ・寺島 涼子 授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任講師に就任。
- ・西田 豊 吉田清隆兼任准教授に変わり、「統計学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
- ・渡邊 俊 外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任講師に就任。
- ・長谷川 和子 授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
- ・場家 美沙紀 授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
- ・平澤 愛 令和5年4月1日付けで講師に昇任。
- ・福田 実乃里 社会福祉士実習演習担当教員講習会に参加し、社会福祉士基礎分野講習を修了したため、「社会福祉学」の担当教員として追加し、兼任助教に就任。
- ・知原 信良 総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
- ・岩澤 忠彦 少人数教育実施のため、「日本語表現法」の担当教員として追加し、兼任講師に就任。

作業療法学専攻
【令和5年度】

・近藤 知子	前田直助教に代わり、「ハンドセラピー概論」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・田口 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、授業担当科目に追加。 「見学実習」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・丹羽 正利	「リハビリテーション解剖学実習」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・長谷川 利夫	「基礎作業学概論」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・岩崎 也生子	授業内容の幅を広げるため、「作業分析学」の一部を担当することとなり、担当授業科目に追加。 大城直美助教に代わり、「作業療法評価学Ⅰ(総論)」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・鈴木 優喜子	令和5年4月1日付けで講師に昇任。
・長島 泉	令和5年4月1日付けで講師に昇任。 長谷川利夫教授に代わり、「基礎作業学概論」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・原田 祐輔	令和5年4月1日付けで講師に昇任。
・大城 直美	「作業療法評価学Ⅰ(総論)」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・白石 めぐみ	津曲優子助教に代わり、「リハビリテーション解剖学実習」を担当することとなり、担当授業科目に追加。 授業内容の幅を広げるため、「基礎作業学実習」の一部を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・津曲 優子	「リハビリテーション解剖学実習」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。 授業内容の幅を広げるため、「作業分析学演習」の一部を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・人見 太一	令和4年度博士号取得のため保有学位変更。
・前田 直	令和5年3月31日付けで退職。
・阿部 展次	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・嵐 洋子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・石井 晴之	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・市村 正一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井上 真	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井本 滋	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・岩本 和良	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・大山 学	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大嶺 智子	令和5年3月31日付けで退職。
・岡島 康友	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・岡村 裕	授業内容の幅を広げるため、「職業適性論」の一部を担当することとなり、兼任教授に就任。
・小田 信之	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・加藤 雅江	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・要 伸也	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・川村 真理	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」から「社会と大学Ⅱ」の担当に変更。
・北島 勉	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・窪田 博	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・神崎 恒一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・木暮 健太郎	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・小林 陽一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・小堀 貴亮	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・近藤 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・齋藤 康一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・斉藤 崇	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・坂本 ロビン	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・塩川 芳昭	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・副島 京子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・多久嶋 亮彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・田中 浩輔	「職業適性論」「基礎生物学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・田中 信弘	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・梅井 武彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・内藤 高雄	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・西 孝	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・原田 奈々子	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・久松 理一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平形 明人	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平野 照之	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・福長 一義	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・福原 浩	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・古瀬 純司	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。

・真野 康久	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任教授に就任。
・宮首 弘子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・山口 芳裕	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・横山 健一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・萬 知子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・渡邊 衡一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大川 昌利	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員となり、兼任特任教授に就任。
・池田 一磨	令和5年4月1日付けで教授に昇任。
・石井 さなえ	「生化学概論」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・大西 健司	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、担当授業科目から削除。また、尾崎愛美兼任講師に代わり、「日本国憲法」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・糟谷 崇	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・北田 真理	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・高田 京子	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・中村 美奈子	「心理学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・西山 桂子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・長谷部 弘道	令和5年3月31日付けで退職。
・半田 英俊	令和5年4月1日付けで教授に昇任。
・松井 孝太	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・三浦 秀之	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・森 和	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任准教授に就任。
・八木橋 宏勇	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・吉田 清隆	「統計学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・伊藤 慎	田中浩輔兼任教授に代わり、「基礎生物学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・尾崎 愛美	令和5年3月31日付けで退職。
・加藤 拓	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・黒子 彩子	大嶺智子兼任教授に代わり、「職業適性論」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・関澤 浩一	令和5年4月1日付けで准教授に昇任。
・Chunmei Huang	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当となり、兼任講師に就任。
・寺島 涼子	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任講師に就任。
・西田 豊	吉田清隆兼任准教授に変わり、「統計学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・渡邊 俊	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任講師に就任。
・長谷川 和子	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
・場家 美沙紀	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
・平澤 愛	令和5年4月1日付けで講師に昇任。 また、「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・福田 実乃里	社会福祉士実習演習担当教員講習会に参加し、社会福祉士基礎分野講習を修了したため、「社会福祉学」の担当教員として追加し、兼任助教に就任。
・知原 信良	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・廣田 尚美	「英語読解」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・和田 望	廣田尚美兼任講師に変わり、「英語読解」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・渡辺 由希	中村美奈子兼任准教授に代わり、「心理学」を担当することとなり、兼任講師に就任。

言語聴覚療法専攻

【令和5年度】

・石毛 美代子	間藤翔悟助教に変わり、「呼吸発生発語系の構造・機能・病態」を担当。
・岡島 康友	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・大森 茜恵	間藤翔悟助教に変わり、「聴覚系の構造・機能・病態」を担当。
・間藤 翔悟	担当授業科目から「呼吸発生発語系の構造・機能・病態」、「聴覚系の構造・機能・病態」を削除。 早坂友成兼担准教授に変わり「リハビリテーション概論」を担当。
・阿部 展次	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・嵐 洋子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・石井 晴之	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・市村 正一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井上 真	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・井本 滋	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・岩本 和良	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・大山 学	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大嶺 智子	令和5年3月31日付けで退職。
・岡村 裕	授業内容の幅を広げるため、「職業適性論」の一部を担当することになり、兼任教授に就任。
・小田 信之	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・加藤 雅江	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・要 伸也	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・川村 真理	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」から「社会と大学Ⅱ」の担当に変更。
・北島 勉	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・窪田 博	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・神崎 恒一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・木暮 健太郎	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・小林 陽一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・小堀 貴亮	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任教授に就任。
・近藤 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・齋藤 康一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・斉藤 崇	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・坂本 ロビン	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・塩川 芳昭	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・下島 裕美	「学習・言語心理学」の開講曜日時間の調整困難により、兼任辞退。三浦大志兼担講師に変わり「生涯発達心理学」を担当。
・副島 京子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・多久嶋 亮彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・田口 晴彦	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の開講形態変更に伴い、この2科目を担当することとなり、兼任教授に就任。
・田中 浩輔	「職業適性論」の開講曜日時間の調整困難により、兼任辞退。
・田中 信弘	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・梅井 武彦	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・内藤 高雄	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・西 孝	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・原田 奈々子	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・久松 理一	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平形 明人	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・平野 照之	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・福長 一義	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・福原 浩	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・古瀬 純司	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・真野 康久	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任教授に就任。
・宮首 弘子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・望月 秀樹	吉田清隆兼担准教授に変わり、「情報処理論」を担当することとなり、兼任教授に就任。
・山口 芳裕	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・横山 健一	「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・萬 知子	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・渡邊 衛一郎	「保健・医療の現状と未来Ⅰ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、兼任辞退。
・大川 昌利	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員となり、兼任特任教授に就任。
・石井 さなえ	「生化学概論」の開講曜日時間の調整困難により、兼任辞退。
・大西 健司	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、担当授業科目から削除。 また、尾崎愛美兼担講師に代わり、「日本国憲法」を担当することとなり、担当授業科目に追加。
・糟谷 崇	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。

・北田 真理	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・高田 京子	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・西山 桂子	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・長谷部 弘道	令和5年3月31日付けで退職。
・半田 英俊	令和5年4月1日付けで教授に昇任。
・早坂 友成	「リハビリテーション概論」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・松井 孝太	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・三浦 秀之	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・森 和	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員となり、兼任准教授に就任。
・八木橋 宏勇	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・吉田 清隆	「統計学」および「情報処理論」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・尾崎 愛美	令和5年3月31日付けで退職。
・加藤 拓	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」から「社会と大学Ⅰ」の担当に変更。
・黒子 彩子	大嶺智子兼任教授に代わり、「職業適性論」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・関澤 浩一	令和5年4月1日付けで准教授に昇任。
・Chunmei Huang	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅰ」の担当となり、兼任講師に就任。
・寺島 涼子	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任講師に就任。
・西田 豊	吉田清隆兼任准教授に変わり、「統計学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・古川 綾子	「言語の表現法」、「言語学」、「音声学」の開講曜日時限の調整困難により、担当授業科目から削除。
・三浦 大志	「生涯発達心理学」の開講曜日時限の調整困難により、兼任辞退。
・渡邊 俊	外国語学部内での担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅲ」の担当となり、兼任講師に就任。
・長谷川 和子	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
・場家 美沙紀	授業内容の幅を広げるため、「生命倫理学」の一部を担当することとなり、兼任助教に就任。
・人見 太一	吉田清隆兼任准教授に変わり、「情報処理論」を担当することとなり、兼任助教に就任。
・平澤 愛	令和5年4月1日付けで講師に昇任。 「保健・医療の現状と未来Ⅱ」の授業形態をオンデマンドに変更したため、担当教員が変更となり、担当授業科目から削除。
・福田 実乃里	社会福祉士実習演習担当教員講習会に参加し、社会福祉士基礎分野講習を修了したため、「社会福祉学」の担当教員として追加し、兼任助教に就任。
・荒川 みどり	古川綾子兼任講師に変わり、「言語学」を担当することとなり、兼任教授に就任。
・知原 信良	総合政策学部内での退職者の発生や担当科目の見直しに伴い、「社会と大学Ⅱ」の担当教員から外れ、兼任辞退。
・浅野 恵子	古川綾子兼任講師に変わり、「音声学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・井上 晴菜	下島裕美兼任教授に変わり、「学習・言語心理学」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・田中 伊式	古川綾子兼任講師に変わり、「言語の表現法」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・塚原 麻衣	語学系兼任講師間での時間割の見直しに伴い、「英語読解」を担当することとなり、兼任講師に就任。
・廣田 尚美	語学系兼任講師内での時間割の見直しに伴い、「英語読解」の担当教員から外れ、担当授業科目から削除。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
13	11	5	11	40	0	14	10	8	8	40	0
(13)	(11)	(5)	(11)	(40)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
14	10	8	8	40	0	14	10	8	8	40	0
[1]	[Δ1]	[3]	[Δ3]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[3]	[Δ3]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授65 准教授以下63 歳	1	1
名	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{40} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{40} = \boxed{2.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【理学療法専攻】

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1							該当者なし			
合計 (D)										
後任補充状況の集計 (E)										
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1							該当者なし			
合計 (F)										
後任補充状況の集計 (G)										
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1						該当者なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当者なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

【作業療法学専攻】

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	前田 直	R5.3	必修	作業療法評価学Ⅱ（疾患別）	①	R5.3—身上の都合による退職のため就任辞退（4）			
				必修	身体障害作業療法学演習	①				
				必修	義肢装具学	①				
				必修	義肢装具学実習	①				
				必修	ハンドセラピー概論	①				
				必修	見学実習	①				
				必修	評価実習Ⅰ	①				
				必修	評価実習Ⅱ	①				
				必修	総合臨床実習	①				
				必修	地域・訪問実習	①				
				必修	作業療法学演習Ⅰ	①				
				必修	作業療法学演習Ⅱ	①				
				必修	作業療法学演習Ⅲ	①				
				必修	作業療法学演習Ⅳ	①				
必修	卒業研究Ⅰ	①								
必修	卒業研究Ⅱ	①								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1							該当なし			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{16} = 6.25\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) 一①、(3) 一②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1						該当なし				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

前田直助教退職に伴う教員交代については、以下のとおりである。
 「ハンドセラピー概論」：近藤知子教授へ担当教員が交代となる。
 「見学実習」「評価実習Ⅰ」「評価実習Ⅱ」「総合臨床実習」「地域・訪問実習」「作業療法学演習Ⅰ」「作業療法学演習Ⅱ」「作業療法学演習Ⅲ」「作業療法学演習Ⅳ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」：当該専攻専任教員と分担して行う科目であるため、教員交代に伴う講義、実習、演習及び学生への影響はないと考えられる。
 また、学生には履修案内にて周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

【言語聴覚療法学専攻】

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1							該当者なし			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1							該当者なし			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1						該当者なし				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当者なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回開催し、委員長（学部長）をはじめ、教務部長、学生部長、各学科長、その他委員（教員）12名で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・他大学の取り組みを知る研修会 ・授業方法について研究会 ・情報セキュリティに関する研修会 等</p> <p>b 実施方法 ・オンラインおよび対面による研修会を実施。 ・Teacher of the year を受賞した教員の授業での工夫点を紹介、その後ミニシンポジウムを実施。 ・事後アンケートを行いFD委員会にて内容の評価、効果測定を行う。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 研修会は年3回実施。2022年度教員の参加状況：1回目78%、2回目64.2%、3回目79%</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、研修会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実施している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期（7月）と後期（1月）に原則として全授業で実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は、大学ホームページにより公開している。</p>
--

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健学部リハビリテーション学科は、理学療法学専攻、作業療法学専攻そして言語聴覚療法学専攻の3専攻を配し、同一学科において理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を養成する。医療人としての高い倫理観に裏づけされた豊かな人間性とリハビリテーションに関する高度な知識、技術を備え、様々な障害に対する機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2023年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和4年に評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の評価を受審し、適合認定された。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F113310103876
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人 杏林学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	井の頭事務部 教務課
職名・氏名	カチョウ シミズ ミサ子 課長・清水 みさ子
電話番号	0422-47-8000 (内線: 3134)
(夜間)	0422-47-8064
e-mail	simimisa@ks.kyorin-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 学士(保健衛生学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	65人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	260人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	1.12倍	-倍	1.12倍	-倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	755	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	743	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	195	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	73	(-)					
入学定員超過率 B/A											1.12						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様してください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	73 [0] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	73 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{73} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

学校コード F113310103876

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

杏林大学

保健学部

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 杏林学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	井の頭事務部 教務課
職名・氏名	カチョウ シミズ ミサ子 課長・清水 みさ子
電話番号	0422-47-8000（内線：3134）
（夜間）	0422-47-8064
e-mail	simimisa@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 学士(保健衛生学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	50人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	200人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	50人 (-) [-]	1.04倍	-倍	1.04倍	-倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	198 (-) [-]					
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	192 (-) [-]					
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	157 (-) [-]					
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	52 (-) [-]					
入学定員超過率 B/A												1.04					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	52 [0] (-)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	52 [0] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	52 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{52} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

学校コード F113310103876

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

杏林大学

保健学部

リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 杏林学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	井の頭事務部 教務課
職名・氏名	カチョウ シミズ ミサ子 課長・清水 みさ子
電話番号	0422-47-8000（内線：3134）
（夜間）	0422-47-8064
e-mail	simimisa@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法専攻 学士(保健衛生学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4 年	25 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	100 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	0.92倍	-	0.92倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	79	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	76	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	55	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	23	(-)					
入学定員超過率 B/A											0.92						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様してください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	23 [0] (-)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	23 [0] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	23 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。